



まつりのチラシ

とき 旬さば・松浦とらふぐまつり始まる

まつうら海鮮街道実行委員会（小松英史会長）の会議が9月29日、松浦商工会議所で開催されました。

同会は、旬あじ、旬さば、とらふぐやその料理をPRし、地産地消の推進と交流人口の増加を目的として活動しています。

この日は、10月1日から始まる「旬さばまつり」、「松浦とらふぐまつり」に参加する市内の宿泊・飲食施設、鮮魚販売20店舗の代表者などが出席。まつり開催に向けてチラシ折込などの宣伝広告やおもてなし講習会、料理研究会などについて話し合いました。

まつりは、旬さばまつりが来年2月28日まで、松浦とらふぐまつりが来年3月31日まで開催されます。

中学女子の部で市内チームが優勝

第14回西九州親善少年剣道松浦大会が10月4日、文化会館で開催され、中学女子の部で田代少年剣道クラブが優勝しました。

同実行委員会が、青少年の心身の鍛錬と親ほくをを図ることを目的に、毎年開催しています。今大会には、

県内や佐賀県の10市4郡から小学生の部43チーム、中学男子の部34チーム、中学女子の部22チーム約550人が参加し、団体戦で白熱した戦いを繰り広げました。



鷹島少年の主張大会

第13回鷹島町少年の主張大会（鷹島町青少年健全育成会主催）が9月28日、鷹島開発総合センターで開催されました。

意見発表を通して、青少年の意識に対する市民の理解を深めてもらい、子どもたちの健全育成を図ることを目的に毎年開催されています。この日は、小・中学生、保護者、地域の人など多くの来場者が見守る中、小学生4人、中学生4人が日ごろ考えていることや夢などをテーマに発表。審査の結果、「涙がおしえてくれたこと」というテーマで発表した木下萌香さん（鷹島中2年）が最優秀賞に、森彩恵夏さん（鷹島中3年）が優秀賞に、門歩乃華さん（鷹島小5年）が入選に選ばれました。



ヴァイオリンとチェロの音色を鑑賞

2009年長崎県青少年劇場小公演「ヴァイオリンとチェロのコンサート」（県教育委員会、市教育委員会主催）が9月29日、今福小学校体育館で開催されました。

県内の青少年にすぐれた芸術を直接鑑賞する機会を提供し、文化活動の振興を図ることを目的に公演されたものです。この日集まった児童や保護者など約200人は、鍵富弦太郎さんのヴァイオリンと湯原拓哉さんのチェロが奏でる「ヴァイオリンとチェロのためのソナタ（ドッツァー）」などの演奏に魅了されていました。



老人クラブ大会

第4回松浦市老人クラブ大会（松浦市老人クラブ連合会主催）が10月7日、文化会館で開催されました。

大会は、これからの老人福祉のあり方を考え、高齢者の顕彰を行い、各クラブ活動の成果を発表し、活動の活性化と高齢者福祉の充実向上を図るために開催されたものです。

この日は、友広市長が「長寿社会とこれからのまちづくり」と題して、『長崎のきみまる』こと長崎角栄さんが「健康漫談」と題して講演。その後、各クラブからの演芸発表が行われ、会場は笑い拍手に包まれていました。



海の幸へ感謝し慰霊

平成 21 年度魚霊祭が 10 月 10 日、新松浦漁業協同組合で開催されました。

同祭は、海の幸に感謝し、魚の霊を慰めるため、新松浦漁業協同組合の恒例行事として実施されたものです。

式には、水産関係者約 150 人が参加。石橋長嘉蓮乗院住職が読経供養したあと、川上茂男代表理事組合長などがあいさつ。参加者は順に焼香し、静かに手を合わせ、死んだ魚の霊を弔い、魚を放流しました。



同友会まつり

第 16 回長崎県中小企業家同友会経営フォーラム同友会まつりが 10 月 10 日、松浦海のふるさと館で開催されました。

長崎県中小企業家同友会会員企業を中心に出店希望の地元企業も参加しての新商品の発表や即売会が行われ、多くの市民などでにぎわいました。また、文化会館では劇団あんみつ姫座長、とまとさんによる「見せるから魅せるへ」と題した特別講演があり、約 150 人の参加者たちはユーモアたっぷりの講演に笑いながらも、お客様を満足させるために努力を惜しまないという話などに聞き入っていました。



松浦市・木曽町・福島町親善友好提携式



松浦市・木曽町・福島町親善友好提携式

松浦市と長野県木曽町、北海道福島町が 10 月 9 日、市役所で「松浦市・木曽町・福島町親善友好提携の証」を取り交わしました。

松浦市に合併する以前から本市の福島町と 2 町は自治体名に「福島町」が入っていたことから三福島生徒学習交流を行い、中学生の相互訪問を実施。互いの環境の違いや地域文化の違いの体験を通じた青少年の育成に取り組んできました。式の中で 3 市町は交流の継続を確認し、それぞれの首長と議長が証に署名した後、握手を交わしました。友広市長は、「新たな交流を促進し、人材育成や地域活性化などにつなげたい」と話しました。

鷹島地区対抗ソフトボール大会

鷹島町内 9 地区対抗によるソフトボール大会（市体育協会鷹島支部主催）が 10 月 10 日、鷹島総合運動公園グラウンドで行われました。

大会は、町民の体力増進と、親ぼくを目的に隔年で開催されているもの。この日は、澄み切った秋空と照りつく日差しの中、参加した約 160 人の選手たちの懸命なプレーに応援も白熱し、珍プレー、好プレーの連続で会場は大いに盛り上がりました。上位の結果は以下の通りです。

【優勝】

里地区

【準優勝】

阿翁地区

【3 位】

石川地区



松浦よか^{ゆきこ}とこ大使に小船裕紀子さん

各イベントで松浦市の魅力を PR する松浦よか^{ゆきこ}とこ大使に小船裕紀子さん（御厨・中野、28）が選ばれました。

小船さんは、志佐町の菊地病院に勤務。管理栄養士として入院患者の食事管理などを行っています。バドミントンやドライブが趣味という小船さんは「職場の上司や先輩が推薦し応募しました。面接のときは緊張して話せなかったのがダメだと思っていましたが、選ばれたと聞いてどうしようかとドキドキしました。いろいろな人と接することになり不安もありますが周囲の力を借りて頑張りたいです。松浦市はアジなどの魚がおいしく、心のあたたかい人が多いので大好きです。そういうところを PR していきたいです」と話しました。

